

デーヴォ ガイド



2026.4.20-26

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

102:17 窮した者の祈りを顧み彼らの祈りを
ないがしろにされないからです。

102:18 このことが後の世代のために書き記さ
れ新しく造られる民が【主】を賛美しますよ
うに。

102:19 【主】はその聖なるいと高き所から見
下ろし天から地の上に目を注がれました。

102:20 捕らわれ人のうめきを聞き死に定めら
れた者たちを解き放つために。

102:21 人々が【主】の御名をシオンで主の誉
れをエルサレムで語り告げるために。

102:22 諸国の民や王国が一つに集められて
【主】に仕えるために。

102:23 主は私の力を道の半ばで弱らせ私の日
数を短くされました。

102:24 私は申し上げます。「私の神よ私の日
の半ばで私を取り去らないでください。あな
たの年は代々に至ります。

102:25 あなたははるか昔に地の基を据えられ
ました。天もあなたの御手のわざです。

102:26 これらのものは滅びます。しかしあな
たはとこしえの方です。すべてのものは衣の
ようにすり切れます。外套のようにあなたが
それらを取り替えられるとそれらはすっかり
変えられます。

102:27 しかしあなたは変わることがなくあな
たの年は尽きることがありません。

102:28 あなたのしもべたちの子らは住まいを
定め彼らの裔は御前に堅く立てられます。」

シオンの回復について歌われています。シオンと
は、神の民に与えられた地です。ですからその回復
とは、彼ら罪のゆえに失ってしまった祝福の回復で
もありません。それは霊的にまた新約的にも受け止め

ることができます。すなわち私たち人類は神とど
もにいたにも関わらず罪ゆえに断絶してしまった
のですが、その神様との関係回復を表すのです。

ですからこの箇所は私たちクリスチャンにとっ
ても、神様との関係回復を表わします。そしてそ
の回復の根拠とは神のあわれみです。また神の栄
光です。ただしここで重要なことは、主の民が
「シオンの石を喜び、シオンのちりをいとおしむ
(14節)」ということです。現代の私たちも、神
様との交わりをそれほど慕っているでしょうか。
石やちりとは価値のないようなものです。しかし、
シオンにあるのなら、そこまで麗しく感じるとい
うのです。

主との関係を、またはその回復を愛しましょう。
主との交わりの場所をいつくしむ、その思いを表
わしましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(気持や願
いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 21日 火曜

詩篇

<ダビデによる。>

103:1 わがたましいよ【主】をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ聖なる御名をほめたたえよ。

103:2 わがたましいよ【主】をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

103:3 主はあなたのすべての咎を赦しあなたのすべての病を癒やし

103:4 あなたのいのちを穴から贖われる。主はあなたに恵みとあわれみの冠をかぶらせ

103:5 あなたの一生を良いもので満ち足らせる。あなたの若さは鷲のように新しくなる。

103:6 【主】は義とさばきをすべての虐げられている人々のために行われる。

103:7 主はご自分の道をモーセにそのみわざをイスラエルの子らに知らされた方。

103:8 【主】はあわれみ深く情け深い。怒るのに遅く恵み豊かである。

103:9 主はいつまでも争ってはおられない。とこしえに怒ってはおられない。

103:10 私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず私たちの咎にしたがって私たちに報いをされることもない。

103:11 天が地上はるかに高いように御恵みは主を恐れる者の上に大きい。

「主の良くしてくださったこと」とは、文脈から言うと赦しと贖いであって、それはイスラエルの民にとっては、エジプトからの脱出のことでしょう。しかし、それは単に良くなったというのではなく、「さばき」が伴っています。

神様は単にご利益をくれる都合の良いカミサマではなく、「正義とさばきを行われる」方なのだとい



うことを忘れてはなりません。さばき主であられる神様は、しいたげられている者にとっては恵であり、しかししいたげている者にとっては恐怖なのです。

もうひとつ重要なことは、そのようなさばきの神様でありと同時に、「主は、絶えず争ってはおられない。いつまでも、怒ってはおられない。私たちの罪にしたがって私たちを扱うことをせず、私たちの咎にしたがって私たちに報いることもない。」という、さばきを超えた神様の愛です。

旧約においては、この天が矛盾するように感じますし、その解決は示されなかったのですが、新約においてイエス様の十字架によって解決されたのです。

ですから私たちは、さばきの神を喜ぶとともに、赦しの神を喜ぶのです。なんという不思議なしかし幸いな恵でしょうか。この神様に対して、この詩は「わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな。」と勧めています。

このような賛美と感謝を何か明らかなかたちで表わしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 22日 水曜

詩篇

103:12 東が西から遠く離れているように主は私たちの背きの罪を私たちから遠く離される。

103:13 父がその子をあわれむように【主】はご自分を恐れる者をあわれまれる。

103:14 主は私たちの成り立ちを知り私たちが土のちりにすぎないことを心に留めてくださる。

103:15 人その一生は草のよう。人は咲く。野の花のように。

103:16 風がそこを過ぎるとそれはもはやない。その場所さえもそれを知らない。

103:17 しかし【主】の恵みはとこしえからとこしえまで主を恐れる者の上にあり主の義はその子らの子たちに及ぶ。

103:18 主の契約を守る者主の戒めに心を留めて行う者に。

103:19 【主】は天にご自分の王座を堅く立てその王国はすべてを統べ治める。

103:20 【主】をほめたたえよ主の御使いたちよ。みことばの声に聞き従いみことばを行う力ある勇士たちよ。

103:21 【主】をほめたたえよ主のすべての軍勢よ。主のみこころを行い主に仕える者たちよ。

103:22 【主】をほめたたえよすべて造られたものたちよ。主が治められるすべてのところ。で。わがたましいよ【主】をほめたたえよ。

「主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めてくださる。」とあります。だからこそ主を「恐れ」なければなりません。十字架によって救われたから何をしても良いと考えていては、サタンに足元をすくわれてしまいます。



自分が信仰的にその洞察の面でも「ちりにすぎない」ことを認めて謙遜になりましょう。そして主を恐れて、主の知恵と御心を求めましょう。

またこれは安心を感じることはでもありません。主が私たちの弱さを考慮しつつ、回復し守ると言っているのです。弱い者は失敗もします。しかしそれでも主は守ってくださるのです。

そしてそこで安心のためにも必要なのが、主を「恐れる」ということです。主の偉大さの前にひれ伏すのです。そうすれば主の權威が私たちの弱さをも覆ってくださるのです。弱くても失敗しても主が分かってくくださるから大丈夫と安心できます。

ただしここで勘違いしてはいけないことは、安心だから罪を犯し続けるという態度です。それは主を信頼しているのではなく、あなどっているのであって、そのような人は主から離れてゆく一方です。ですから主を恐れつつ、その恐れの心を確認しつつ安心しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 木曜

詩篇



104:1 わがたましいよ【主】をほめたたえよ。わが神【主】よあなたはまことに大なる方。あなたは威厳と威光を身にまっております。

104:2 あなたは光を衣のようにまとい天を幕のように張られます。

104:3 水の中にご自分の高殿の梁を置き密雲をご自分の車とし風の翼に乗って進み行かれます。

104:4 風をご自分の使いとし燃える火をご自分の召使いとされます。

104:5 あなたは地をその基の上に据えられました。地はとこしえまでも揺るぎません。

104:6 あなたは大水で衣のように地をおおわれました。水は山々の上にとどまりました。

104:7 水はあなたに叱られて逃げあなたの雷の声で急ぎ去りました。

104:8 山を上り谷を下りました。あなたがそれらの基とされた場所へと。

104:9 あなたは境を定められました。水がそれを越えないように再び地をおおわないように。

神の創造のみわざのゆえに、その力を持っておられる神をほめたたえています。自然は何げなく見過ごしてしまえばそれまでですが、その美しさや力や緻密さに感動することもできます。そしてそれ以上にその自然を造られた神様に圧倒されるというのが、救われて神を知るものとなった私たちの感性です。

ですから、山々と水の循環を地球に造られた神様をたたえましょう。また生きものを育むための、水と自然の動的環境を造られた主をたたえましょう。地球全体の循環のシステム、すなわち水、太陽、酸素と二酸化炭素、光合成や食物連鎖の中に、新しい発見をして感動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 24日 金曜

詩篇

104:10 主は泉の水を谷に送り山々の間を流
れさせ

104:11 野のすべての獣に飲まされます。野
ばも渇きを癒やします。

104:12 その傍らには空の鳥が住み枝の間でさ
えずります。

104:13 主はその高殿から山々に水を注がれま
す。みわぎの結ぶ実によって地は満ち足りて
います。

104:14 主は家畜のために草をまた人が労して
得る作物を生えさせます。地から食物を生じ
させていただきます。

104:15 ぶどう酒は人の心を喜ばせパンは人の
心を支えます。油よりも顔をつややかにする
ために。

104:16 【主】の木々は満ち足りています。主
が植えられたレバノンの杉の木も。

104:17 そこに鳥は巢をかけこうのとりはもみ
の木を宿とします。

104:18 高い山は野やぎのため岩は岩だぬきの
隠れ場。

104:19 主は季節のために月を造られました。
太陽はその沈むところを知っています。

104:20 あなたが闇をもたらされると夜になり
あらゆる森の獣が這い回ります。

104:21 若い獅子は餌食を求めて吼えたけり神
に自分の食物を求めます。

104:22 日が昇ると彼らは退いて自分のねぐら
で横になります。

104:23 人は自分の仕事に出て行き夕暮れまで
その働きにつきます。



「獅子」の生活に深く関わります。それは植物と
その恩恵にあずかって生きる生物界も同じです。
極小の生物も1つの生態系と自然系の中に有機的
に生きているのです。それは人間も同じです。

自分自身が生きている環境が、いかに神様の偉
大さと恵みに満ちているかに気付くことは重要で
す。それが正しい神観だからです。もっと主に感
謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願
いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなた
の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

全てを創造なさった神の偉大さのゆえに賛美しま
しょう。太陽という宇宙レベルの存在が、地上の



25日 土曜

詩篇

104:24 【主】よあなたのみわざはなんと多いことでしょう。あなたは知恵をもってそれらをみな造られました。地はあなたのもので満ちています。

104:25 そこには大きく広い海があり這うものや生き物は数えきれません。小さなものも大きなものも。

104:26 そこを船が行き交いあなたが造られたレビヤタンもそこで戯れます。

104:27 彼らはみなあなたを待ち望んでいます。あなたが時になんて食物をお与えになるのを。

104:28 あなたがお与えになると彼らは集めあなたが御手を開かれると彼らは良いもので満ち足ります。

104:29 あなたが御顔を隠されると彼らはおじ惑い彼らの息を取り去られると彼らは息絶えて自分のちりに帰ります。

104:30 あなたが御霊を送られると彼らは創造されます。あなたは地の面を新しくされます。

104:31 【主】の栄光がとこしえにありますように。【主】がご自分のみわざを喜ばれますように。

104:32 主が地に目を注がれると地は震え山々に触れられるとそれは煙を上げます。

104:33 私はいのちの限り【主】に歌い生きるかぎり私の神をほめ歌います。

104:34 私の心の思いがみこころにかないますように。私は【主】を喜びます。

104:35 罪人らが地から絶え果て悪しき子どもがもはやいなくなりますように。わがたましいよ【主】をほめたたえよ。ハレルヤ。



れています。「レビヤタン」と呼ばれる巨大海獣も極小の生物も1つの生態系と自然系の中に有機的に生きているのです。それは人間も同じです。全てを創造なさった神の偉大さのゆえに賛美しましょう。

私たちは今日、自然のことを知り尽くしているかのように錯覚して、神様を話題にしないでよいのかのように思いがちですが、そうではありません。人間の知恵は、たとえ遺伝子情報を分析したとしても、それは極一部であり、何よりそれを知ったところで作り出すことはできないのです。

天気予報でさえ、週間天気予報などよくはずれるのです。主の全能をほめたたえましょう。人間がどうすることもできない自然の力を、はるかに超えたお方をほめたたえましょう。そして謙遜になり、感動し、主に信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 日曜

詩篇

105:1 【主】に感謝し御名を呼び求めよ。そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。
105:2 主に歌え。主にほめ歌を歌え。そのすべての奇しいみわざを語れ。
105:3 主の聖なる御名を誇りとせよ。【主】を慕い求める者たちの心よ喜べ。
105:4 【主】とその御力を尋ね求めよ。絶えず御顔を慕い求めよ。
105:5 主が行われた奇しいみわざを思い起こせ。その奇跡と御口のさばきを。
105:6 主のしもべアブラハムの裔よ。主に選ばれた者ヤコブの子らよ。
105:7 この方こそ私たちの神【主】。そのさばきは全地にわたる。
105:8 主はご自分の契約をとこしえに覚えておられる。命じられたみことばを千代までも。
105:9 それはアブラハムと結んだ契約イサクへの誓い。
105:10 主はそれをヤコブへの定めとして立てられた。イスラエルへの永遠の契約として。
105:11 そのとき主は言われた。「わたしはあなたにカナンの地を与える。あなたがたへのゆずりの地として。」
105:12 そのころ彼らの数は少なく実にわずかでそこでは寄留者であった。
105:13 彼らは国から国へ一つの王国からほかの民のところへと渡り歩いた。
105:14 しかし主はだれにも彼らを虐げさせず彼らのために王たちを戒められた。
105:15 「わたしの油注がれた者たちに触れるな。わたしの預言者たちに危害を加えるな。」
105:16 こうして主は飢饉を地の上に招きパン



の蓄えをことごとくなくされた。
105:17 主は一人の人を彼らに先駆けて送られた。ヨセフが奴隷に売られたのだ。
105:18 ヨセフの足は苦しみのかせをはめられその首は鉄のかせに入れられた。
105:19 彼のことがそのとおりになるときまで【主】のことがばは彼を鍊った。
105:20 王は使いを送ってヨセフを解放した。諸国の民の支配者はそうして彼を自由にした。
105:21 主人である王はヨセフに自分の家を任せ自分の全財産を治める者とした。
105:22 それはヨセフが意のままに王の高官を縛り王の長老たちに知恵を与えるためであった。

神様に感謝して、そのみわざを宣教するように勧め、またほめ歌を歌えと宣言しています。ここで特徴的なのは「聖なる御名を誇りとせよ」ということでしょう。
私たちは主の名を誇りとしているでしょうか。それとも何か恥のように隠していたい気持ちでしょうか。もちろん伝えるのには時がありますし、謙遜に語る必要もあるでしょう。しかし、謙遜と恥に思うことは違います。自分がクリスチャンであることを隠さず知られてしまったときはどうでしょうか。

イエス様は、「もしだれでも、わたしとわたしのことばとを恥と思うなら、人の子も、自分と父と聖なる御使いとのお栄光を帯びて来るときには、そのような人のことを恥とします。」と言われました。私たちはどうでしょうか。もしもイエス様を誇りと思うなら、イエス様も私たちのことを誇りと思ってくださいなのです。

確信を持って歩む人は、この世でも結局は尊敬されることが多いです。周りに気を遣って流されていると、結局見くびられますから、やはりイエス様を信じるなら誇りとするくらいの確信を持ち

ましょう。その誇りを今日も何かで、誰かに表わしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

